

教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
現代文化学部	准教授	小野澤泰子	修士(人間・環境学、理学)

I 教育活動

教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) インターンシップ指導について	令和2年4月～ 令和5年3月	活水女子大学国際文化学部日本文化学科(地域ビジネスコース)において、2年次および3年次のインターンシップ実習(必修科目)の担当教員の一人として、学生たちのインターンシップの事前・最中・事後の学習指導・面談・助言・学生の成果報告プレゼンテーションの準備等の手伝いを行った。またインターンシップ生受入れ企業・組織へ出向き、調整等も随時行った。(令和4年3月まで令和4年4月からは本学現代文化学部独自の科目「インターンシップ」の担当教員の一人として、学生、就職課、インターンシップ受入れ企業・組織等と適宜連絡を取り合いながら調整等を行い、極力学生の希望を尊重しながら助言・指導等を行った。
(2)作成した教科書・教材・参考書 特記事項なし		
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等 「自分らしいリーダーシップをみつけよう」 「実りあるインターンシップ制度について」	令和元年12月14日 令和2年1月21日	活水女子大学 第43回リーダーシップトレーニング講演会にて、学部生向けにグループリーダーとして必要なスキルと心構えについての講演を行った。 活水女子大学国際文化学部 2019年度日本文化学科FD研修会にて、2020年度より始まる2カ月間の長期インターンシップ実習のあり方について、小野澤を含む地域ビジネスコース担当教員らによる現状報告を交えながら、自由討論形式で検討が行われた。
(4)その他教育活動上特記すべき事項 特記事項なし		

II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
なし					
(論文)					
茨城県筑西市下館地域における食料品小売業の変容と買物行動の現状.	共著	平成20年2月	筑波大学人文地理学・地誌学研究会, 地域研究年報第30号	駒木伸比古・李 虎相・永村恭介・小野澤泰子	pp.143-159
成田ニュータウンにおけるコミュニティ活動の特性.	共著	平成22年2月	筑波大学人文地理学・地誌学研究会, 地域研究年報第32号	久保倫子・小野澤泰子・橋本 操・菱沼雄介・松井圭介	pp.43-69
Mixed Development in Sustainability of Suburban Neighborhoods: The Case of Narita New Town.	共著	平成22年10月	The Association of Japanese Geographers, Geographical Review of Japan Series B 第83巻第1号	KUBO Tomoko, ONOZAWA Yasuko, HASHIMOTO Misao, HISHINUMA Yusuke and MATSUI Keisuke	pp.47-63
須崎市における住宅団地の居住者特性とコミュニティ活動—旭ヶ丘団地を事例として—.	共著	平成23年2月	筑波大学人文地理学・地誌学研究会, 地域研究年報第33号	小野澤泰子・菱沼雄介・陳麗娜	pp.123-138

日立市における商業構造の変容.	共著	平成24年2月	筑波大学人文地理学・地誌学研究会, 地域研究年報第34号	小野澤泰子・大道寺聡・橋本 操・飯 婷婷・陳 麗娜・盧 柳松・大石貴之・山下清海	pp.161-180
タイ・サムットサーコーン県におけるミャンマー人の適応様式.	単著	平成25年6月	地理空間学会, 地理空間第6巻第1号		pp.47-62
コロナ禍における長崎市観光地への影響についてーグラバー通りの商業施設を事例としてー.	共著	令和3年3月	活水学院日本文化学会, 活水日文第62号	小野澤泰子・浦 杏奈・小島聖理奈・畑口桃子・山田萌々	pp.28-38
小浜温泉調査レポートー女子大学生から見た県内観光地の魅力についての考察ー.	共著	令和4年3月	活水学院日本文化学会, 活水日文第63号	小野澤泰子・荒木乙羽・小田有紗・坂本幸加・鹿野杏菜・芝元結女・傍島咲織・TRAN THI THANH TUYEN・中橋天音・永淵葵衣・野口絵莉子・古川莉奈・前山瑠菜・水島澄香・ZHENG HANG	pp.122-149
アニメツーリズム聖地の持続性に関する考察ー『夏目友人帳』ロケ地としての熊本県人吉市の事例ー.	単著	令和5年3月	尚綱学園, 尚綱大学研究紀要第55号		pp.75-96
自然災害からの観光復興としてのアニメツーリズム戦略ー『夏目友人帳』ロケ地: 熊本県人吉球磨地域の事例ー.	単著	令和6年3月	尚綱学園, 尚綱大学研究紀要第56号		pp.43-55
(その他)					
<学会発表>					
茨城県筑西市下館地域における食料品小売業の変容と買物行動の現状.	共	平成20年5月	東北地理学会 2008年度春季学術大会 (宮城大学)	永村恭介・駒木伸比古・李虎相・小野澤泰子	
タイ国サムットサーコーン県におけるミャンマー人労働者コミュニティに関する人文地理学的考察.	単	平成20年7月	日本タイ学会 第10回研究大会 (一橋大学)		
タイ国サムットサーコーン県におけるミャンマー人コミュニティの発展過程に関する研究.	単	平成21年3月	日本地理学会 2009年春季学術大会 (帝京大学)		
成田ニュータウンにおける居住者特性からみた郊外住宅地の持続可能性.	共	平成21年9月	日本地理学会 2009年秋季学術大会 (琉球大学)	久保倫子・小野澤泰子・橋本操・菱沼雄介・松井圭介	
The Development of Sustainable Socail Structure in Narita New Town.	共	平成22年11月	The 5th China-Japan-Korea Joint Conference on Geography, Sendai, Japan (東北大学)	ONOZAWA Yasuko, KUBO Tomoko, HASHIMOTO Misao, HISHINUMA Yusuke, MATSUI Keisuke	
タイ・バンコクにおけるミャンマー人コミュニティの適応戦略.	単	平成23年3月	日本地理学会 2011年春季学術大会 (明治大学)		
転換点を迎えた持続的アニメツーリズム聖地に関する考察ー『夏目友人帳』ロケ地として熊本県人吉市を事例としてー.	単	令和5年3月	日本地理学会 2023年春季学術大会 (東京都立大学)		
須恵村の人文地理学的アプローチによるリスタディーエンブリー調査資料を手掛かりにー.	単	令和6年3月	熊本地理学会 2023年度冬季研究発表大会 (熊本大学)		
Ⅲ 学会等及び社会における主な活動					
平成22年5月～平成24年4月	茨城県つくば市環境審議会委員				
平成24年7月～平成29年6月	地理空間学会 編集委員				
令和4年4月～令和8年3月	熊本県菊陽町公民館運営審議会委員				